



令和6年度「船上山トレッキング」実施報告書

I 事業の概要

1 期 日 令和6年11月9日(土)

2 日 程

9:00	受付
9:30	出合いのつどい
10:00	登山【東坂・船上神社お参りコース】 自然の家～東坂駐車場～東坂コース～薄ヶ原～ 船上神社～下山～展望台で豚汁～自然の家
15:00	感想記入 感想提出後、解散



3 ねらい 秋の船上山登山を通して、自然と歴史に親しむ。

4 対 象 小中学生とその保護者および一般(未就学児を除く) 30名程度

5 応募者数 11組22名

6 当日参加者数 9組19名

7 参 加 費 1人900円



II 実施状況

■11月9日(土) 天候 快晴

予定では、西坂登山道だったが、2週間前に熊の目撃情報が入ったために、人の往来が多い東坂登山道に変更しての開催となった。

11時30分頃に山頂に到着。記念撮影をした後、昼食の休憩をとった。山小屋の紹介や食べ物を山頂に残さないように話をした。天気もよく家族同士で談笑をするなど、山頂での昼食を満喫していただいた。

12時になると神社まで出発し、12時15分ぐらいに神社に到着した。神社に着くと、神社への参拝や神社についての解説をした。記念撮影をし、もう一度山頂へ向けて出発した。



山頂に戻ると短時間の休憩をもう一度とり、下山を開始した。天候は晴れていたが、日陰の場所は湿っていたためにすべりやすくなっていた。すぐそばにいる低学年の児童を見ると、登りよりも歩くペースが速くならないようにより一層心がけた。「後ろ向きで下りよう」「手を使って」など、声をかけた。

14時頃、東坂の登山道入口に到着し、展望台に移動した。そこで豚汁を召し上がっていただいた。みなさん美味

しように召し上がられ、おかわりをされる参加者も多かった。アンケートにも「豚汁がおいしかった」と言ってくれる参加者が多数だった。

15時頃、自然の家に帰着。感想記入をしていただき、感想の提出、名札ケースと熊スズの返却をされると解散となった。みなさん全員さわやかに「ありがとうございました。」などとあいさつをして帰られた。アンケートの満足度は全ての組が全ての項目で満点だった。参加者さんの「参加してよかった」という気持ちがくみ取れる。

今回の「船上山トレッキング」でも、コースを歩いていく中で、船上山の自然や歴史についての解説を聞いていた。以下に当日の指導員による解説内容を紹介する。



【鳥居】

- ・鳥居の奥にあるはずの神社がない。その代わりに船上山がある。
- ・後醍醐天皇が船上山に来られる以前のころから、船上山は信仰の対象となっていた。
- ・「せんじょうさん」の「さん」は信仰の対象となっている山の呼び名である。
- ・周辺では大山、三徳山、船上山が信仰の対象となっている。
- ・大山は方言が混ざって「せん」となっている。



【茶園原入口】

- ・「茶」と「園」の漢字から分かるように、昔はこのあたりでお茶を栽培していた。
- ・7回かまどにくべても燃えないほど丈夫な木「ナナカマド」もある。
- ・赤い実が多くつければ、その年の冬は大雪と言われるが、赤い実が現在ついていないので暖かい冬となるかもしれない。



【茶園原奥側】

- ・(屏風岩を指しながら)「船上山」という名前の由来は「船の底のように見えたり」「船をひっくり返したように見えたり」しているからという説と、昔船に乗って山に登っていたからという説がある。

【駕籠立て場】

- ・後醍醐天皇は隠岐の島に捕らえられていたが、なんとか脱出することができた。はじめは出雲に逃げるつもりだったが、天候の影響により流されて鳥取県西部地方に上陸した。80日間船上山に立てこもっていたが、船上山の合戦では後醍醐天皇側は少数だったにも関わらず、天候の味方もあり撃退することができた。その合戦で勝てたことにより、後醍醐天皇側に寝返る近隣武将が増え、天皇は京に上っていくことができた。京に向かう際に籠が休憩した場所となっている。



【東坂登山道 中腹】

- ・海の方を指しながら日本海が見えている。隠岐の島も条件がそろえば見える。
- ・後醍醐天皇もここから隠岐の島を眺めて思いをめぐらせたかもしれない。
- ・「山焼き」が3年に一度実施されている。令和7年3月には「山焼き」が実施される予定となっている。



【行宮碑】

- ・行宮(あんぐう)は天皇が外出した先で滞在して宿泊する場所を指す。
- ・行宮では京に上がるための計画を練っていた。
- ・似たような言葉に行幸(みゆき)がある。行幸とは天皇が外出することを指す。

【船上神社】

- ・船上神社では3つの神様を祭っていた。
- ・船上神社の奥の方に後醍醐天皇の行宮があったという説もある。
- ・大スギは樹齢100年以上となっている。幹の周囲は5.6mもある。
- ・裏側には西坂登山道があり、神社の裏側から上がってくる。西坂登山道は後醍醐天皇が船上山に登る際に通った道である。

【展望台付近の道】

- ・赤い実をたくさんつけた植物は「マムシグサ」。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者9組 1組は早く下山されたのでアンケートは未実施)

- ①事業全体の満足度: 満足8組
- ②登山の楽しさを感じることができた: 満足8組
- ③同じような企画があればまた参加したい: 満足8組
- ④施設的环境、職員の接する態度: 満足8組

《参加者の感想》(抜粋)

- ・初めての船上山でしたが、ペースも歩きやすく、説明も良かった。親子で楽しめた。豚汁がおいしかった。
- ・よい天気になり、気持ちよく歩くことができた。豚汁がおいしかった。小学生以来の船上山登山楽しかった。
- ・山の植物や風景を見られてうれしかった。豚汁がおいしかった。船上山の歴史にも時々ふれながらの登山で、また別の登山道でちがった歴史にふれたいと思った。



2 成果

- ・指導員の歴史や自然の解説が好評だった。
- ・指導員のそばに小さい子が来るように並び順を設定することで、歩くペースの配慮がしやすかった。
- ・豚汁が好評だった。
- ・熊騒動があったが、事前のコース変更や熊鈴等の準備、事前の下見によって参加者の安心安全に努めることができた。

3 課題

- ・今回は晴れていたのですが外で昼食をとれたが、山頂小屋の中でとる場合、今回の参加者(20人前後)より多くなると難しい。
- ・今回、本来は西坂コースの予定であったが、小学生の低学年の参加もあり体力的に心配された。参加者の体力には個人差があるが、選定するコースによって参加対象を考慮することや、選択コースの設定などの工夫が必要である。